



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンチャー
コード番号 8208 URL <http://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 健夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 鈴木 一精

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,516	△3.0	499	56.3	318	86.2	223	184.6
27年3月期第3四半期	32,494	△8.0	319	△50.2	170	△61.0	78	△79.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 205百万円 (123.1%) 27年3月期第3四半期 92百万円 (△76.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	16.30	—
27年3月期第3四半期	5.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	41,245	9,346	22.7	683.24
27年3月期	39,939	9,277	23.2	678.18

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 9,346百万円 27年3月期 9,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,230	1.5	580	106.1	300	249.4	180	—	13.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	13,714,995 株	27年3月期	13,714,995 株
28年3月期3Q	35,843 株	27年3月期	34,805 株
28年3月期3Q	13,679,612 株	27年3月期3Q	13,681,103 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられたものの、中国の景気減速への不安などから企業生産が落ち込んだことや長引く消費の低迷により、景気は足踏み状態が続いております。

ホームセンター業界におきましては、消費増税後の個人消費の回復が停滞していることに加え、異業種も含めた販売競争もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする企業グループを目指し、品揃え・価格・陳列方法などの観点から各定番商品の見直しを行い、お客様のニーズにお応えできる魅力ある店づくりに努めました。また、ホームセンター専門店化への推進や地域に根ざした店舗運営を事業活動の主軸とし、お客様満足向上に注力しました。

店舗の状況といたしましては、新規出店は「ハードストック」を1店舗、既存店の改装は「ジャンボエンチャー」を3店舗、「c a s a」を1店舗、「SWEN」を2店舗行いました。平成27年12月に行いました静岡県富士市にある「ジャンボエンチャー富士西店」の改装では、「新たな園芸顧客の獲得」と「個への対応」をコンセプトに、屋内外を問わずライフスタイルに応じたガーデニングの提案や手軽に楽しめるガーデニングの紹介、ガーデニングのもつ「癒し」の効果を訴求するなど、園芸・ガーデニングに特化した店づくりを行いました。また、お客様の買物環境の向上を目指し、一部駐車場設備の改修やお客様の生活シーンに沿った売場づくりに注力しました。

しかしながら、長引く消費マインドの低迷や暖冬により季節品が振るわなかった影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、31,516百万円(前年同期比97.0%)となりました。利益につきましては、引き続きコスト削減を推進した結果、営業利益499百万円(同156.3%)、経常利益318百万円(同186.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益223百万円(同284.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,306百万円増加し、41,245百万円となりました。

流動資産は15,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,823百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加1,783百万円によるものであります。固定資産は25,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ517百万円減少いたしました。これは主に建設仮勘定の減少210百万円、長期貸付金の減少74百万円、敷金及び保証金の減少161百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,237百万円増加し、31,899百万円となりました。

流動負債は17,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ676百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,809百万円、短期借入金の減少2,466百万円によるものであります。固定負債は14,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,914百万円増加いたしました。これは主に社債の減少150百万円、長期借入金の増加2,293百万円、固定負債のその他の減少156百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し、9,346百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加86百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は22.7%(前連結会計年度末は23.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月13日発表の予想から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,115	3,899
受取手形及び売掛金	769	979
商品	10,450	10,499
仕掛品	25	16
貯蔵品	21	26
繰延税金資産	116	66
その他	608	444
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,107	15,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,578	7,641
土地	11,767	11,767
建設仮勘定	238	27
その他(純額)	1,238	1,187
有形固定資産合計	20,822	20,623
無形固定資産	89	89
投資その他の資産		
投資有価証券	591	571
長期貸付金	1,280	1,206
敷金及び保証金	2,205	2,043
繰延税金資産	312	282
その他	537	504
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	4,918	4,600
固定資産合計	25,831	25,314
資産合計	39,939	41,245
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,921	7,730
短期借入金	9,443	6,976
未払法人税等	25	53
その他	2,840	2,793
流動負債合計	18,230	17,554
固定負債		
社債	150	—
長期借入金	8,701	10,994
退職給付に係る負債	790	695
資産除去債務	375	397
その他	2,414	2,257
固定負債合計	12,431	14,345
負債合計	30,661	31,899

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,731	2,817
自己株式	△15	△15
株主資本合計	9,054	9,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143	140
退職給付に係る調整累計額	79	66
その他の包括利益累計額合計	223	206
純資産合計	9,277	9,346
負債純資産合計	39,939	41,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	32,494	31,516
売上原価	23,290	22,568
売上総利益	9,204	8,948
営業収入	889	881
営業総利益	10,093	9,830
販売費及び一般管理費	9,774	9,330
営業利益	319	499
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	10	12
その他	81	39
営業外収益合計	113	72
営業外費用		
支払利息	188	165
シンジケートローン手数料	54	79
その他	19	7
営業外費用合計	262	253
経常利益	170	318
特別利益		
投資有価証券売却益	—	37
特別利益合計	—	37
特別損失		
減損損失	—	7
店舗閉鎖損失	20	—
出店計画中止損	—	2
特別損失合計	20	10
税金等調整前四半期純利益	150	345
法人税、住民税及び事業税	23	34
法人税等調整額	48	88
法人税等合計	71	122
四半期純利益	78	223
親会社株主に帰属する四半期純利益	78	223

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	78	223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△3
退職給付に係る調整額	△21	△13
その他の包括利益合計	13	△17
四半期包括利益	92	205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	205
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。